

2009年8月31日

尚絅学院大学女子短期大学部附属幼稚園

## 新型インフルエンザの対応 その2

新型インフルエンザは幼児にまれに脳症を誘発することを8月25日にお知らせしました。残念ながらこのインフルエンザに対する抗体を持っている人はいませんので、誰もが罹る可能性があります。

一旦感染がおこるとワクチンがない現在、感染した人は出来るだけ他者との接触を避けることが大切になります。

新型インフルエンザの初期の症状は発熱あるいは咳、あるいは鼻のつまりや鼻水、あるいはのどの痛みなどから始まりますが、この症状が出る一日前からすでに他者に感染させる力があるといわれます。ですから上記のいずれかの症状があったら、まずかかりつけの医師を受診して下さい。その上で医師の指示に従って登園の可否を判断して戴きたいと思えます。医療機関受診が出来ないか、しばらく様子を見る場合でも登園を控えて戴くことをお願いいたします。また医師より感染の診断が出た場合はすみやかに園にご連絡をお願いします。

なお、同居している家族が新型インフルエンザに罹っていることが判った場合はお子さんの様子を観察し、一週間は園を休ませていただくようお願いいたします。

万が一、新型インフルエンザの感染が園児にあった場合には速やかに保護者の皆様に広報いたします。また名取市教育委員会から7日以内に2名以上の新型インフルエンザ患者が確認された場合は学級閉鎖を、複数の学級に閉鎖があれば休園するよう指示があり、それに沿って対処いたします。

ワクチンによる予防対策が確立するまでの間、園児の健康を第一に考えると大変厳しい対応が迫られております。今冬を過ぎれば全国的にワクチンが行き渡ると予測されますので、今しばらくのご辛抱とご協力をお願いいたします。

《お願い》

- ★ コップ・タオルを毎日持ち帰りますのでお手数をおかけしますが毎日お持たせ下さい。
- ★ トイレの共有タオルは撤去いたしますので大人の方はハンカチをご持参下さい。